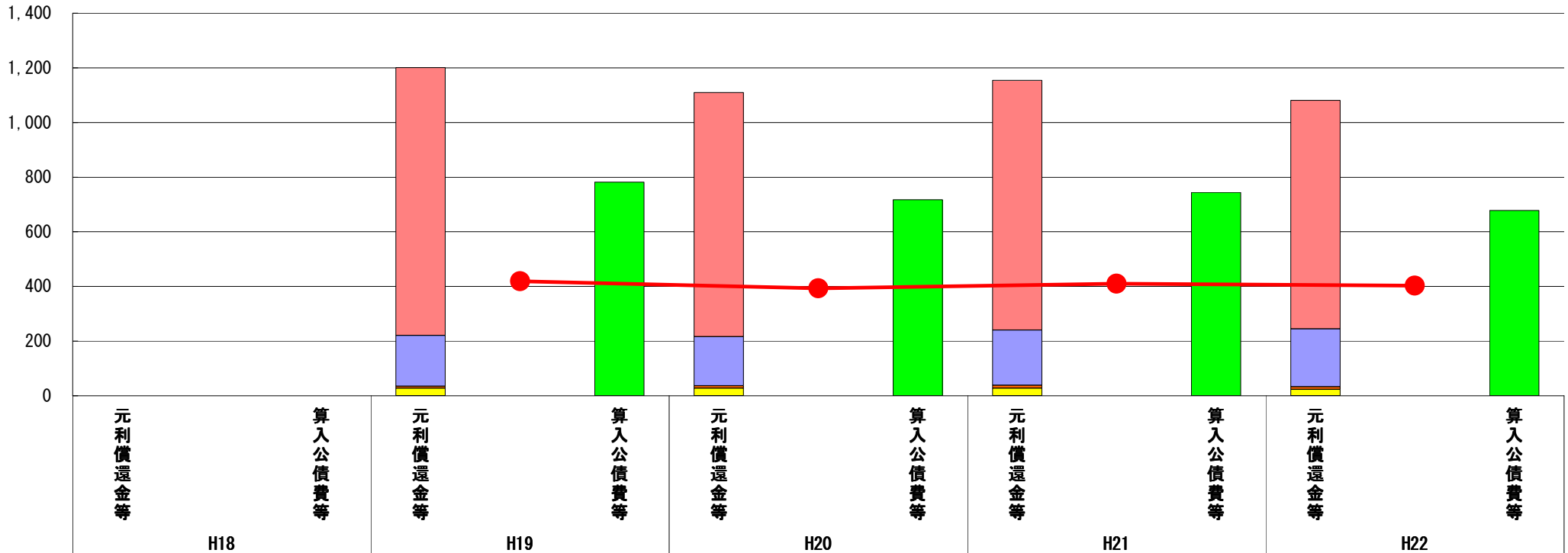


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

北海道小平町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金	-	980	894	914	836	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	186	179	202	212	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	7	9	10	10	
	債務負担行為に基づく支出額	-	28	28	28	23	
	一時借入金利息	-	-	-	-	-	
算入公債費等 (B)	算入公債費等	-	782	717	744	678	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	419	393	410	403	

## 分析欄

元利償還金については、過去に実施した大型の公共施設建設事業及び下水道整備事業に係る既往債の償還が多額であったが、起債の償還は既にピークを過ぎており、年々減少していくことが予想される。  
また、その他の項目についても減少して行く見込みであることから、今後も財政状況等を勘案し、繰上償還を実施するなどして、分子構造の縮小に努める。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。